

江戸



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel: 03 - 3313 - 6241

Fax: 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>



そ し どう りゅう ご たい
表紙 祖師堂 龍五態
波の伊八(初代 武志伊八信由)作

「波の伊八」は江戸時代から昭和にかけて房総半島を中心に、五代にわたり、寺社の欄間や向拝を彫った宮彫り師一族です。

特に、初代の「武志伊八信由」は少年の頃より手先が器用で、19歳で鴨川市鏡忍寺祖師堂の飾りを彫り、73歳で亡くなるまで数多くの作品を残しました。

粹からはみだした「龍」など型にはまらない作風は、現代アートを超え、彼の天才ぶりを遺憾なく発揮し、見る者を震え上がらせます。

(「波の伊八会」より)

宗歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた霊鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穩で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もはれぬ

たえぬ御法みのりの鷲りゅうの山風

山主随想

山田日潮

闇なれども燈入りぬれば明かなり

濁水にも月入りぬればすみ

『四条金吾女房御書』



私達この世に生きとし生ける者は 仏様の世界 この娑婆世界に於て 慈悲の心を頂戴し生かされております ただ仏様がおられた時代から永い年月がたち 人々がその御教えを護り持ち修行して 正しく悟りを得ようとする心が何時しか衰え 末法の世 闘諍堅固の時と言われる時代を生きております 形式ばかりの仏法さえも失われ 人心は乱れて絶えず争い事が起きる状況に入り 日蓮聖人は法華經こそが仏の真実の教えであり その時代に生きる人々の為にこそこの教えは説かれたと考えました 闇世の燈 濁世の

月が法華經であり 濁末の世を正す教えがこの經文でありました そして日蓮聖人は艱難辛苦に耐えられ心魂を傾けて正法弘通に努められたのです

時代が移り現代社会は文化文明の利益をうけ 人々の暮らしは格段によりなりました ただ如何に人智がもたらした科学 技術 学問の進んだ現代人間社会にしても 自然の力には敵わず 思いも因らぬ人為的な事件 事故も起こります 他国では戦争 内紛が絶える事ありません テロリズムは何時私達の身に降り掛かるやもしれない時勢となりました 人類は長い歴史の中で事の良し悪しは十分に学習し見極める心を持つてゐるはずなのですが

法華經中の常不輕菩薩はお釈迦様の前世のお姿で 人々に手を合わせ但行礼拝し深く敬う心を持ち続けられました 日蓮聖人は同じ時代に生きる人々の苦しみを見るに忍びず その苦しみをご自分お一人で背負われる思いを持たれました

末法の世は今も 又この先永く続いていくのですが 人を思い 人と思ひ合い 人を思い違ふ といった仏様 法華經の精神が社会にあるいは人々の心に注がれる事が本当に大切な今この時かと感じます

日蓮聖人の手紙（二十二）

妙揚寺住職 立正大学仏教学部教授 北川 前肇

「なによりもをばつかなき事は御所^{ごしやう}勞^{ろう}なり。かまへてさもと三年^{さんねん}、はじめのごとくに、きうぢ^{きうぢ}（灸^し治^ち）せさせ給^{たま}へ。病^{やまい}なき人も無常^{むじやう}まぬがれがたし。但^{ただ}しとしのはてにはあらず。法華^{ほけきやう}經^{ぎやう}の行者^{ぎやうじや}なり。非業^{ひごう}の死^しにはあるべからず。よも業病^{ごうびやう}にては候^{そつち}はじ。設^{たと}ひ業病^{ごうびやう}なりとも、法華^{ほけきやう}經^{ぎやう}の御力^{おんちから}たのもし。阿闍^{あじや}世王^{せおう}は法華^{たも}經^{しじゅうねん}を持^いちて四十年^{しじゅうねん}の命^{いのち}をのべ、陳^{ちん}臣^{しん}は十五年^{じゅうごねん}の命^{いのち}をのべたり。尼^{あま}ごぜん又^{また}法華^{ごしんじん}經^{つき}の行者^{ぎやうじや}なり。御信^{ごしん}心^{じん}月^{つき}のまさるがごとく、しと（潮）のみつがごとし。いかでか病^{うせ}も失^{いのち}、寿^{うせ}ものびざるべきと強盛^{かうじやう}にをばしめし、身^みを持^じし、心^{こころ}に物^{もの}をなげかざれ」

訳

「私（日蓮）が何よりも心配なことは、あなたのご病気のことです。かならず治ると信じて三年間、当初のようにお灸による治療をなさってください。病を得ていない健康な人でも「死」からまぬがれることは困難です。しかし、あなたはそれほど年齢を重ねられてはいない。まして、あなたは法華經の行者ですから、非業の死などは決してありません。あなたのご病気はまさか前世からの定まった業病ではないでしょう。もし、業病であったとしても、法華經の經力は偉大ですからお任せして安心です。

インドの阿闍世王は、重い病気に冒されましたが、尊い法華經を信仰して四十年間の寿命を延ばしましたし、中国の天台大師の兄である陳臣も、同様に十五年の寿命を延ばしました。あなたは、法華經の行者です。法華經に対するご信心は、月が満月になるように、また海の潮が満ちているように、増々強くなっておられます。どうして病気が癒えないことはない、寿命が延びないはずはない、と堅く信念をお持ちになって、身体をいたわり、心に苦悩がないようにしてください」

（建治二（一二七六）年三月二十七日・『富木尼御前御書』・昭和定本一一四八頁）

解説

この手紙は、下総国八幡庄（千葉県市川市）に在住の富木常忍^{とぎ じやうにん}の妻である富木尼^{とぎ ね}に宛てられたものです。富木尼は、聖人が身延に入山された文永十一（一二七四）年の冬ころから病気の予兆があり、翌年に発病したようです。聖人は、しばしば病氣の見舞いの手紙を差し上げられるとともに、富木尼の法華經への信心の深さを称讃され、併せて聖人ご自身が病氣平癒の祈願をし、また富木尼の子息日頂上人^{にっとうじやうじん}（伊予房）も母の病氣平癒の祈りを行われているのです。

日蓮聖人の生涯

【第二回】

・遠藤教温

◆ 求道の旅

数え年十六歳で出家した蓮長（日蓮聖人）は、清澄寺で勉学に励みました。日本の仏教は十宗にも分かれているが、お釈迦様の説かれた本当の教えは何なのか。父母をはじめ恩ある人々を救うために何を学ばよいか。勉学を重ねれば重ねるほど疑いは深まり、同時に清澄寺での勉学にも限界を感じるようになってしま

した。

暦仁元年（一二三八）初秋、十八歳の蓮長は清澄のお山を下り、武家政治の中心地鎌倉へと向かいました。

鎌倉では諸宗の經典や仏書を熟読し、人にも教えを請い、天台や真言はもちろん、念仏の教えなども精力的に学びました。「念仏を唱えれば往生できる」と説く者が狂乱したり悶死するなど、念佛者の臨終が良くないと

いうことも見聞きました。

清澄寺では得られなかった貴重な勉学の成果と多くの体験をもって、蓮長は清澄寺に戻ります。鎌倉での遊学は蓮長の抱く疑問を解くものとはなりませんでした。

仁治三年（一二四二）二十一歳の蓮長は、念願であった比叡山に向かつて更なる修学の旅に出ました。比叡山は当時の最高学府であり、仏教の根本道場でもあったからです。

比叡山の蓮長は山中の横川を拠点とし修行と勉学を積み重ねました。しかし、東国の安房から来た一人の田舎法師を、都の仏者は相手にしなかったでしょう。真摯な問いに答え

てもくれないような厳しい修学の道でした。

いずれの宗が仏の真実を伝えているのか、いずれの教えなら人生の苦しみから離れられるのか、若き蓮長はただ一人、燃え立つ青春の情熱をそそぎ、一心不乱に学び続けました。

比叡山のみならず、京畿の諸国へも足を延ばし、園城寺から高野山、四天王寺。そして京の町中から周囲の寺々まで訪ね、御仏と向き合い、經典や論文を読破し、人に問い、ひたすら真の仏教とはなにかを探求し続けました。後に日蓮聖人は、五千余巻にのぼる仏典を読破したと述べておられます。

全身全霊をこめた修学の中で、蓮長は中国

で法華經を中心に天台宗を開いた天台大師の「専ら經文を師とせよ」との言葉に出会い、大きな衝撃を受けました。さらに、涅槃經には「法に依つて人に依らざれ」と明言されています。これまで抱いてきた疑問を解くカギはここにあったのです。

清澄寺を下りてから十年余、蓮長が苦難の修行と勉強の中から見いだした「經文を師」とし、「人に依らずに法に依る」態度。それは經文そのものと、その説く道理と、その結果がどのように現れているか、の三点を判断の基準とすることでもありました。經文を師として、あらためてすべての經典を読破した

結果、「法華經こそがお釈迦様の本心が説き明かされた真実の教えである」という確信に至ったのです。

日蓮聖人の生涯

お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第二十二回

睦結社 会長

高武征さん



昭和二十六年に神奈川県川崎市から堀ノ内に移って来ました。以来六十四年、お祖師様に

ご縁を戴いております。

小学生の頃の縁日の様子は、今でも脳裏に焼きついて私の記憶に刻まれています。縁日の日は待ち遠しく、早く学校から帰りたくて仕方が有りませんでした。又、その頃のお会式

は子供にとってワクワクドキドキです。大人になつたら自分も参加したいと思ひながら見物していたものです。その自分が古希を迎えた今、妙法寺万燈講の睦結社会長になるとは、縁日で遊んでいる時も、お会式万燈行列を興奮しながら見ていた時も思つてもみながつた事です。本当に不思議な巡り合わせ、有り難い事です。これは、お祖師様が「育てて頂いた堀之内に少しでも恩返しをしなさい」とのお導きだと思つています。

これからもお祖師様の行事、節分会、お千部会、お会式、盆踊りなどを妙法寺様、お檀家の皆様、堀ノ内の街の皆様のご協力を戴いて睦結社の仲間と共にお山に関わつて行く所存でございます。どうぞ宜しくご指導、お引き廻しをお願い申し上げます。

妙法蓮華經序品第一
如是我聞一時佛住王舍城耆闍崛山中與
大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已
盡無復煩惱逮得己利盡諸有結心得自在
其名曰阿若憍陳如摩訶迦葉優樓頻螺迦

で法華經を中心に天台宗を開いた天台大師の「専ら經文を師とせよ」との言葉に出会い、大きな衝撃を受けました。さらに、涅槃經には「法に依つて人に依らざれ」と明言されています。これまで抱いてきた疑問を解くカギはここにあったのです。

清澄寺を下りてから十年余、蓮長が苦難の修行と勉強の中から見いだした「經文を師」とし、「人に依らずに法に依る」態度。それは經文そのものと、その説く道理と、その結果がどのように現れているか、の三点を判断の基準とすることでもありました。經文を師として、あらためてすべての經典を読破した

結果、「法華經こそがお釈迦様の本心が説き明かされた真実の教えである」という確信に至ったのです。

日蓮聖人の生涯

お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第二十二回

睦結社会長

高武征さん



昭和二十六年に神奈川県川崎市から堀ノ内に移って来ました。以来六十四年、お祖師様に

ご縁を戴いております。

小学生の頃の縁日の様子は、今でも脳裏に焼きついて私の記憶に刻まれています。縁日の日は待ち遠しく、早く学校から帰りたくて仕方が有りませんでした。又、その頃のお会式

は子供にとってワクワクドキドキです。大人になつたら自分も参加したいと思ひながら見物していたものです。その自分が古希を迎えた今、妙法寺万燈講の睦結社会長になるとは、縁日で遊んでいる時も、お会式万燈行列を興奮しながら見ていた時も思つてもみながつた事です。本当に不思議な巡り合わせ、有り難い事です。これは、お祖師様が「育てて頂いた堀之内に少しでも恩返しをしなさい」とのお導きだと思つています。

これからもお祖師様の行事、節分会、お千部会、お会式、盆踊りなどを妙法寺様、お檀家の皆様、堀ノ内の街の皆様の協力をお願いして睦結社の仲間と共に小山に関わつて行く所存でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

妙法蓮華經序品第一
如是我聞一時佛住王舍城耆闍崛山中與
大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已
盡無復煩惱逮得己利盡諸有結心得自在
其名曰阿若憍陳如摩訶迦葉優樓頻螺迦

宗延寺の塔

頭寺院は五か寺
(五坊)で、元和
五年(一六一九)
から寛永十一
年(一六三四)に
かけて建立され
ました。



五か寺(五坊)―「玄林坊」、「玄珠坊」、「中正坊」、「静心坊」、「吉祥坊」―は、表門を入った参道の両脇に立ち並び、それぞれの冠木門がつけられていました。

一般に江戸幕府の基盤は、寛永十二年(一六三五)の参勤交代制度の確立によって定まったといわれます。幕府と宗延寺の基盤の確立が同時期であったことは、幕府と触頭・宗延寺

彼らが、宗延寺に安置された「読経の祖師」に深く帰依していたことがわかります。

ほかに、「鬼子母天尊神」、「妙見大菩薩」、「大黒天」、「壽福稲荷大明神」と諸天善神像が安置されており、江戸時代の主な大火でその都度類焼した宗延寺ですが、奇跡的に仏像だけは難を免れて現在に至っています。

江戸時代における宗延寺は役寺であり、檀家に武家が多くおりました。貞享元年(一六八四)、江戸城中で若年寄・稲葉正休が、時の大老・堀田正俊を刺殺するという事件が起きました。稲葉家の菩提寺が宗延寺であったので、正休の遺骸は当山に葬られました。刃傷に用いられた正休の刀(初代・虎徹)は、寺宝として今も当山に所蔵されています。

宗延寺の境外墓地には、この稲葉正休をはじ

が、深い関わりをもっていたことを物語っています。

宗延寺の本堂内には、ご本尊(二塔両尊四土)と「読経の祖師」とよばれる宗祖像(日蓮聖人像)が安置されており、この祖師像は、「江戸十祖師」の一つに数えられ、あらゆる階層の人びとの厚い信仰が寄せられてきました。

この「読経の祖師」は、「信心すれば声がよくなり病が治る」といって、参詣に訪れる人びとがあとを絶たなかったといわれています。

寛永九年(一七九七)には、歌舞伎役者・市川八百蔵、沢村宗十郎、瀬川菊之丞などの花形役者をはじめ、芝居関係者三十六名から手水鉢が寄進されました。

このことから、演技と共に声が生命であった

め、蘭学者の馬場穀里・足立溪隣、儒者の久野鳳湫などの墓碑があります。



慶應四年（一八六八）、二百六十余年にわたった江戸幕府崩壊後、明治新政府樹立により、全国の各寺院は一樣に荒廃への道を辿りました。宗延寺も宗教活動に支障を来す状態を免れませんでした。徐々に寺運を取り戻しました。

当山四十二世福井日深上人の代に至り、大正二年（一九一三）、区画整理が始まると逸早く現在の堀之内に移転し、日深上人自ら設計に心を砕き、大正八年（一九一九）に移転が完了しました。

本堂の様式などは当時として寺院建築の新機軸を出しており、幸運にも大正十二年（一九二三）の大震災では事なきを得、昭和の戦火も免れることができました。

本堂に隣接する客殿は、大正天皇が御生誕されたおりの御産殿であります。

移転七十年の記念事業として、本堂屋根葺替修復工事を完成させ、「環七観音永代供養塔」を建立致しました。日新上人は、先々代の意を受け継ぎ、平成十六年（二〇〇四）六月、よく

祖師堀之内妙法寺の山主に迎えられるまで、当山のさらなる復興に尽力されました。

当山は、創立四百四十余年、まもなく移転百年を迎えます。報新宗延氏の意志を継ぎ、「報新会」を発足し、御題目の有難さを伝導致しております。環状七号線という厳しい



宗 延 寺

〒166 - 0013
東京都杉並区堀ノ内 3 - 52 - 19
☎03 - 3315 - 7800 FAX 03 - 3315 - 8411

【交 通】

- 東京メトロ丸ノ内線 ●「東高円寺駅」下車、徒歩約8分
- J R 中央線 ●「高円寺駅」下車、タクシー約5分
- バス ●「堀ノ内バス停」下車、徒歩約3分

立地条件の境内地ではありますが、一步山門を入りますと、春には鬱金桜が満開になり、百年もの歳月を経た蓮華は今も咲きほこり、参詣される方々を迎えております。

は甚だしく、日孝上人は当山復興に日夜精進されました。



しかしながら、昭和二十四年（一九四九）、先々代・自省院日孝上人が当山四十五世に就任された折は、戦後直後で諸堂宇の損傷

昭和三十四年（一九五九）、先代・自教院日新上人（当山四十六世、日圓山妙法寺三十六世）が法燈を継承し、宗祖ご入滅七百遠忌、当山創立四百年、



▲堀之内妙法寺 祖師堂前にて
報恩感謝のお会式宗延寺万燈講

堀之内 質問箱

その10

ほ っ け せ ん ぶ え 「法華千部会」

Q 千部会とは何？

祈願、追善、報恩などのために、**壱千部**の経典を誦する法会のことです。**壱部**とは**壱部経**（二つの経典の全部という意味）のことです。その壱部経を省略せずに千回読経することから千部会と呼ばれます。読経する経典は宗派によっ

て法華経、浄土三部経（あるいは単に阿弥陀経のみ）、薬師経など様々です。「続日本記」によると、わが国では天平二十年（七四八）七月、聖武天皇が先帝元正天皇の崩御に際し、法華経千部を書写して供養したというのが始まりです。平安、鎌倉と時代を経て次第にひろまり、特に法華経をよりどころとする天台系のお寺で

盛んに行われました。

Q 日蓮宗での千部会は？

日蓮宗では、日蓮大聖人第五百十遠忌の永享三年（一四三二）十月四日から十三日までの十日間、京都本圀寺が末寺の僧侶を集めて行われたのがはじまりのようです。

江戸時代になってからは、身延山久遠寺、京都本圀寺、中山法華経寺、池上本門寺、鎌倉妙本寺など各本山で行われるようになりました。はじめは、国家安穩や宗祖報恩の法



要でしたがこの頃になると、一個人が願主とな

って千部会を営むのではなく、本山などが主催者となり、多くの信者の寄進を受け、施主の願いごとの成就を祈願する法会となりました。これが恒例化して年中行事となり「永代千部」とよばれるものになりました。現在は身延山久遠寺、池上本門寺、堀之内妙法寺、小湊誕生寺、京都妙願寺等で年中行事として行われています。

千部会は壱部経を千回読むという意味ですから、千人の僧が各壱部経を読むか、百人で十部を読む

Q 現在の妙法寺の千部会は？

現在、大勢の僧侶が集まって、法華經壹部八卷二十八品を全て読誦する千部会を行っているのは、全国の寺院でも数えるほどです。妙法寺では、現在、毎年五月十一日から十三日までの三日間、法華千部会を営んでいます。この法会は、仏縁をむすぶ為に広く一般の人の浄財によつて営まれ、千部施主になられた方々の現在過去未来の所願満足を祈願するものです。千部施主として功德をつむことは、施主本人だけでなく、家族のみなさんの幸せを確かにするということからも大変に意義深いものです。三日間にわたり僧侶が一心に読誦する様子はまことに

尊い姿です。どなたでも堀之内妙法寺の千部会には参加できます。是非ご参加下さい。



妙法寺

かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

◎ 法華千部会のご案内

本年も五月十日～五月十三日の期間、法華千部会を厳修致します。

法華千部会は、江戸時代より二百年を越えて行われている伝統行事の一つです。この期間を通して大勢の僧侶を招き、法華經八卷（漢字約七万文字）で壹部とし、壹千部を全身全霊をかけて大きな声で読誦する

ことを旨とします。

法華經は壹部読むだけでも大変功德があるため、千部会の賛助者（千部施主）となる功德・ご利益は計りしれません。皆さまも千部施主の一人となり、その大きな功德をいただき、除厄安全・身体健全・心願成就などをお祈り致しますよう。

《記》

■ 五月十日（火）

お経揃い……………十九時

■ 五月十一日（水）～十三日（金）

お経……………十時・十三時半

法話……………十二時

● 千部施主 一名 五千円也

（お開帳・お経頂戴・お食事含む）



Q 現在の妙法寺の千部会は？

現在、大勢の僧侶が集まって、法華經壹部八卷二十八品を全て読誦する千部会を行っているのは、全国の寺院でも数えるほどです。妙法寺では、現在、毎年五月十一日から十三日までの三日間、法華千部会を営んでいます。この法会は、仏縁をむすぶ為に広く一般の人の浄財によつて営まれ、千部施主になられた方々の現在過去未来の所願満足を祈願するものです。千部施主として功德をつむことは、施主本人だけでなく、家族のみなさんの幸せを確かにするということからも大変に意義深いものです。三日間にわたり僧侶が一心に読誦する様子はまことに

尊い姿です。どなたでも堀之内妙法寺の千部会には参加できます。是非ご参加下さい。



妙法寺

かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

◎ 法華千部会のご案内

本年も五月十日～五月十三日の期間、法華千部会を厳修致します。

法華千部会は、江戸時代より二百年を越えて行われている伝統行事の一つです。この期間を通して大勢の僧侶を招き、法華經八卷（漢字約七万文字）で壹部とし、壹千部を全身全霊をかけて大きな声で読誦する

ことを旨とします。

法華經は壹部読むだけでも大変功德があるため、千部会の賛助者（千部施主）となる功德・ご利益は計りしれません。皆さまも千部施主の一人となり、その大きな功德をいただき、除厄安全・身体健全・心願成就などをお祈り致しましょう。

《記》

■ 五月十日（火）

お経揃い……………十九時

■ 五月十一日（水）～十三日（金）

お経……………十時・十三時半

法話……………十二時

● 千部施主 一名 五千円也

（お開帳・お経頂戴・お食事含む）



◎ 日朝上人火祭

「眼病守護の日朝さま」「学業成就の日朝さま」とあがめられている行学院日朝上人に、眼病平癒・学業成就をお祈りする大祭を営みます。

《記》

■《日時》六月二十五日(土)……十三時より

■《場所》日朝堂

●祈願料 一名 五千円也

(お札・お守り授与)

◎ 孟蘭盆施餓鬼会

「孟蘭盆」は、目連尊者が母親を餓鬼界から救う話が由来となっています。

目連尊者は、お釈迦様に教えられたとお



り、修行僧たちをもてなして供養を施し、その功德で母親を餓鬼界の苦しみから救うことができました。お釈迦様が説かれたのは、身内や自らが仏に成ることが目的ではなく、他人を導き救うことこそが自身の父母・先祖を救うことに繋がってゆくというものです。

「孟蘭盆施餓鬼会」は、先祖の霊と共に有縁無縁の霊、法界万霊を供養し、全ての生きとし生けるものに感謝する法要です。

《記》

■《日時》七月十六日(土)

……十三時より

■《場所》本堂

― 新盆会 ―

四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆は新盆または初盆といい、特に丁寧に供養を営みます。当山では、新盆を迎えたお檀家の各霊位を供養する法要を営みます。



《記》

■《日時》七月十三日(水)……十三時より

■《場所》本堂

※各家には、ご案内・申込書をお送りします。

◎ 土用の丑はうろく灸

夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。

頭痛は悪鬼の障りによつて起こると信じられていた時代から、その障りを除くために始められたものです。



《記》

■《日時》七月三十日(土)

……九時～十六時(祈願受付は随時)

■《場所》祖師堂

●祈願料 一名 三千円より

かわら版

妙法

についてのお問い合わせはお気軽に寺務所まで。
《電話》03・3331・3133・6241

東京立正短期大学の 50年

妙法寺第三十世岡田日歸上人の発願によって設立された立正高等女学校を起源とする堀之内学園が、東京立正女子短期大学（当時）を創設してから五十年になります。



この五十年、短期大学をめぐる環境は大きく変わりました。十八歳人口は、設立当時から半減、短大入学者数も、平成四年の二十五万人をピークに六万人にまで減少しました。しかし、かつて多

くの短大が、高等教育に接する機会が少なかった女子を対象として、教養と職業的能力を身に付けることができる身近な高等教育機関としてあつたように、四年制大学全盛の現在でも、なお短大

を志願する六万人もの人々の事情やニーズに応える身近な教育機関としての存在意義があります。短大で汎用的職業能力（どんな職業についても発揮できる考える力と行動力）の基礎を確実に身に着けることができます。これを土台に職業生活やさらなる学びの

世界に入って行けます。

英米語学科として始まった当短大も社会的ニーズに応じて、現代コミュニケーション専攻（心理、ビジネス、観光の三コース）と幼稚園教諭免許・保育士資格同時取得可能な幼児教育専攻の二専攻を擁する現代コミュニケーション

ション学科、さらに専攻科を合わせ、二二〇名を超す学生が学ぶ場へと変化しました。教育の最大の特徴は、教職員が学生一人ひとりに寄り添い、それぞれが持つている可能性を発見し、それ



を伸ばすことに注力していることです。学生それぞれの希望をと

に考え、実現の方向を探ろうとしています。地域研究、学校行事、課外活動、ボランティアなど、学生が主体的に参加し、自らの

「生命の尊重、慈悲、平和」という額が掲げられています。

この精神の実践として日々の教育があります。

力に気付く機会を多く設けています。高い学生満足度や就職率などはこれらによるものです。一人ひとりが内に宿す信仰心を大切に育む仏教と当短大の教育との接点がここにあります。教室には、堀之内学園理事長・妙法寺山田日潮山主様の揮毫による

東京立正短期大学学長

工藤教和

オープン キャンパス 日程

コミュニケーションで
未来をつむぐ。

平成28年

4月23日(土)	9月 6日(土)
4月30日(土)	9月20日(土)
5月14日(土)	9月27日(土)
5月21日(土)	9月28日(日)
6月18日(土)	9月 3日(土)
7月16日(土)	9月24日(土)
7月23日(土)	10月 2日(日)
7月30日(土)	10月15日(土)
7月31日(日)	

全日程共、下記の時間に開催します。
10:00~12:00、12:30~14:30

※予約は不要ですが、日程が変更になる場合がございます。お越しの際は、ホームページにてご確認ください。

東京立正短期大学

[全てはコミュニケーションから始まります]

東京立正短期大学

現代コミュニケーション学科(共学)

- 現代コミュニケーション専攻
心理コース/ビジネスコース/観光コース
- 幼児教育専攻
(保育士・幼稚園教諭養成課程)

本学の奨学金制度をご利用ください。



〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15 TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641
URL <http://www.tokyorisso.ac.jp/>



平成29年度入学対象 学校説明会日程

中学校

平成28年 7月16日(土)	—14:30
平成28年10月 2日(日)	—10:00
平成28年10月29日(土)	—14:30
平成28年11月 5日(土)	—14:30
平成28年11月12日(土)	—14:30
平成28年11月26日(土)	—14:30
平成28年12月 3日(土)	—14:30
平成28年12月10日(土)	—14:00

高等学校

平成28年 6月22日(水)	—10:00
平成28年 7月16日(土)	—10:00
平成28年 9月24日(土)	—10:00
平成28年10月 1日(土)	—13:00
平成28年10月29日(土)	—10:00
平成28年11月 5日(土)	—10:00
平成28年11月19日(土)	—10:00
平成28年12月10日(土)	—10:00
平成29年 1月14日(土)	—14:00

塾対象説明会

平成28年 6月29日(水)

いずれも、会場は本校です。ホームページで最新の日程を必ず事前確認の上お越し下さい。



学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校
高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620
URL <http://www.tokyorisso.ed.jp/>



編集後記

ある日、一人の若い娘さんが
お墓参りにやつて来ました。「実
は明日、私の結婚式なので、ご
先祖に報告に来ました」翌日の
準備で忙しい時に良く参られた
と感心し、心の中に爽やかな風
が吹いた気持ちに成りました。
実はこの娘さん、数年前に初め
て来た時には、とても派手な恰
好をしていたので、まさかお墓参
りとは思えませんでした。家人
が尋ねた処「どの様にお参りし
たら良いのかわからない」と言う
ので「まず水桶で墓石や花立て
などを洗い清め、お花やお線香

を供えてから、心静かに手を合
わせて、亡き人を偲びましよう
と。そして自分や家族が息災で
あることを報告して下さい」と
話しました。それから、娘さん
は時間をかけて一生懸命にお墓
掃除をし「ああ、心が洗われて、
何だかスッキリしました」と笑
顔で帰りました。それ以来度々
お参りに来る様になりました。
今の若い人達は信仰心が無く、
お墓参りや法事もあまりしない
等と歎く声を耳にしますが、
しないのではなく、知らないの
では？

教誌編集委員

委員	雄豊	田	教
長	理	田	教
員	深	田	教
員	亨	山	教
	義	山	教
	善	石	教
	厚	川	教
	宝	月	行
	隆	都	教
	傳	井	教
	秀	月	教
		田	
		戸	

教雄記

年長者が、きちんと仏事や
お墓参りの仕方等を教えてい
いのではないと、反省をこめて思
いました。私自身、その娘さん
を通して教えられたのかも知れ
ません。どうぞ娘さんの幸多き
事を祈って。

はりの3

第44号・平成28年 4月発行



清水屋
御菓子
〒166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3
☎03-3313-0725
【営業時間】和菓子 ◆10時～17時
手打ち蕎麦 ◆平日：11時～15時・17時～20時、
緑日・祝祭日：11時～18時（蕎麦がなくなり次第終了）
【定休日】火曜日・水曜日（緑日と祝祭日は休まず営業）

ご葬儀をご想像へ

ムラカミの安心と信頼が
皆様の想いを
サポートいたします。

ご家族葬から
社葬・団体葬までご対応。
1級葬祭ディレクターが
責任を持って担当いたします。

365日24時間 自社所有の
寝台車による速やかなお迎え。
霊安室も完備しております。

AAA 葬祭業安心度調査
AAA評価 JECIA格付
★★★★★認定

村上葬祭
株式会社 ムラカミ
〒156-0051 東京都世田谷区宮城3-28-2
http://www.murakami-sousai.co.jp
ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、
無料でご相談にお応えいたします。
24時間・365日ご対応 ☎0120-711-556

墓石・記念碑門塀
諸石材工事
マサ
中島正石材
有限会社
〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-1-3
TEL 03-3332-6846
FAX 03-3332-6882

御法事やお祝いなどのお料理
各種取り揃えております



お喰い初め お宮参り 初誕生日 初節句
七五三 入学祝 成人式 ご結納 上棟式
ご法事 通夜料理 精進おとし

ときぜんみわ
季膳味和
0120-030-668
東京都中野区南台5-9-2

味季
和膳
和食料理